

平成 18 年 5 月 11 日

各 位

株式会社日本リート
代表取締役社長 松島 敬尚

ご報告とお詫び

このたび、昨今の耐震偽装問題が社会問題化するさなか、皆様にご安心いただく為に弊社が事業主として建築、販売を行った全ての分譲マンションにつきまして、第三者検査機関による自主検査を行いました結果、誠に遺憾ではございますが、弊社および共同事業主1社が建築、販売いたしました大阪市内の分譲マンション1棟（以下本建物）におきまして、設計士による構造計算を行う際の誤入力の箇所が発見されました。そして、その事実を確認検査機関の日本ERIでも見逃していたという事実が判明いたしました。

実際の建物の耐震性についての再検証の結果、一旦は安全が確認され、ご入居の皆様に対して、管理会社を通じてご通知させていただきましたが、誤入力の問題は日本ERIから大阪市へと行政の判断に委ねておりましたところ、日本ERIによる建物の耐震性についての再検証の結果、耐震性についての疑義が再度生じました。

これを受けて、建築主（日本リート）、設計監理者（三谷滋伸建築事務所）、日本ERI、大阪市との間で様々な検証を重ねて参りました結果、本建物の構造計算による耐震性が安全基準を満たしていないことが確認されました為、ご購入者およびご入居者の皆様に対しましては先月末の2日間にわたってのご説明会を開催いたしました。説明会にご参加いただけなかった方々には、ご訪問という形で、事実と今後の対応の概要につきまして、ご説明をさせていただいて参りました。そして本日、大阪市の構造計算再検証委員会におきまして、最終的な審議内容につきまして、大阪市より報道機関の方々に対して公表されました。

ご購入者およびご入居者の皆様には多大なるご心痛、ご不安をおかけしますことを深くお詫び申し上げます。弊社といたしましては、この度発生いたしました事態を厳粛に受け止めるとともに、問題解決に向け鋭意努力して参る所存でございます。

また、既に本建物についての安全回復のための対策チームを検査機関監修の下、ゼネコンや設計士で構成しており、速やかに本建物の強度不足の程度の把握と、その補修や補強工事などの対処につきまして、お客様にご負担をおかけすることなく、万全を期しましてお客様の安全の確保につとめさせていただく所存です。

ご購入者およびご入居者の皆様や、関係者の方々にはご迷惑をおかけいたしますが、まずは耐震強度の基準を満たし、住宅としての完全な性能を回復するべく、然るべき対処を速やかに行い、建築主としての責任を全うさせていただく所存でございますので、何卒、ご理解とご協力のほど、お願い申し上げます。

以上